

長沼町地域公共交通活性化協議会 平成20年3月4日設置



概要

長沼町は、町営バスが町内の公共交通の中心であるが、農村地域においては住宅の密度が低く、バス停までの距離が長いこと等により、利用者数は低迷している。このため、町営バスの路線再編、デマンド型の乗合タクシーの導入等による町内の公共交通の利便性の向上の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・(株)JR北海道バス(札幌ー長沼)
- ・(株)夕張鉄道(札幌ー長沼ー夕張)
- ・北海道中央バス(株)(長沼ー由仁ー栗山ー栗沢ー岩見沢)
- ・町営バス(9路線、内スクールバス混乗2路線)

○地域公共交通の課題

- ・町営バスの利用者数が低迷
- ・農村地域では、バス停までの距離が長く、利便性が低い
- ・町営バスと民間バスとの結節が不十分

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・利用促進策の検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バスの路線再編の検討
- ・乗合タクシーの導入
- ・住基カードとの連携の検討(電子ポイント利用)
- ・民間バスと町営バスの結節拠点の整備検討
- ・観光スポットの周遊バスの導入検討

